

モード Mode は語る

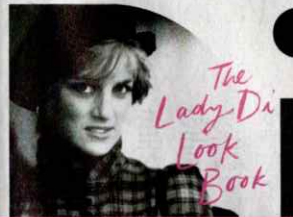
中野 香織

故ダイアナ妃装いの意味

人が服を着る目的は何なのか。語りつくされたかに見えるこの問題に斬新な回答が1つ加わった。リベンジである。

高い人気を誇る故ダイアナ妃のファッションを扱った本、『ダイアナ妃ルックブック メッセージを秘めたファッション史』（グラフィック社）が発売された。ファッションを通して人とつながったダイアナ妃のスタイルの変遷を追う本だが、大きなテーマとして貫かれているのが、リベンジなのである。著者エロイズ・モランの表現を借りれば「生贄（いけにえ）の子羊からリベンジクイーンとなったダイアナ妃」のリベンジによる自

ダイアナ妃ルックブック



世界が愛したプリンセス、ダイアナ妃(Lady Di)がファッションを通して伝えたかったことは?

著者はインスタグラムで延々とダイアナのリベンジルックを投稿。それをきっかけに本書が生まれた

己解放を痛快にたどる本でもある。

ダイアナ妃の「リベンジドレス」は有名で、それは1994年、サーペンタインギャラリーで着用した、露出多めの黒いミニドレスである。同夜、夫であったチャールズ皇太子（当時）が自らの不倫を公表することになっていた。対するダイアナ妃はセクシーなドレスを堂々と着こなし、満面の笑みでメディアの注目を集め、翌朝の新聞の一面を飾った。王室以外の世界中を味方につけたドレスがリベンジドレスと呼ばれている。

著者モランの新しさは、その後のダイアナ妃の装いを、ほぼすべてリベンジル

リベンジ経て成長と自立

ックとして分類したことである。自分に価値がないと思わせた元夫や恋人、元上司などに、新しい自立した自分を見せ、嫉妬・後悔させることが目的。最終目標は、自分に自信をもつことという。

リベンジにポジティブな正当性を与える著者は、ダイアナ妃が数々のリベンジルックによって成長し、自信を得ていく過程に、結婚の破綻から立ち直ろうとする自分自身を重ねる。

もはやリベンジルックを必要としなくなった後に起きた悲劇には胸が締め付けられるが、ファッションの力が、切り捨てられて傷ついた心を癒し、自信を回復する後押しをしてくれると教えるダイアナ妃は、21世紀にも影響力を発揮している。ファッションの力を過小評価する社会へのリベンジブックにもなっている。